

## 令和 6 年度第 3 回 支えあいのまちづくり協議体(月島地域) 実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体(月島地域)」の令和 6 年度第 3 回目を、月島地域で開催しました。

### 1 実施日

令和 6 年 11 月 26 日(火) 14:30~16:00

### 2 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター 11 名

### 3 内容

- ・各メンバー近況報告、自己紹介
- ・前回の振り返り
- ・2 層協議体情報交換会の報告
- ・意見交換
  - ① 晴海地区のまち歩きマップ作成について
  - ② 広報紙「となりぐみ」の作成について

### 4 出席者近況報告

地域の様子や高齢者の現状について、各々から報告を行った。

- ✓ 夏の猛暑で、体調を崩した方が多かった印象。知人にも入院した方や亡くなったりした方が居て、自分を含めて高齢者には今年の夏は大変だったのだと思った。麻雀教室に通い始めてとても楽しく、そこで仲良くなった方から新しい情報を仕入れたりして、今日も「はるみらい」に卓球をしに行く予定。
- ✓ 協議体メンバー勤務先の創業祭でくじ引きをしたら 1 等が出た。
- ✓ (上記創業祭について) 勤務先では毎年創業祭を行っており、地域のみなさんに来ていただいて、今年は 300 名が参加した。
- ✓ 葬式の相談だけでなく、困ったときの相談窓口としても認知してもらっている。様子伺いの電話をすることもあって、いろいろな相談を受けることがある。独居高齢者で、自分が亡くなった後のことについて相談が結構ある。事務委任契約、火葬や死去後のアパートの片づけ、配偶者と同じ墓に入るための料金などについて案内している。こういった心配ごとを解消して安心して暮らせると言ってもらえている。
- ✓ 知人・近親者が申請したマイナンバーカードの受取について困難なケースがある。受取は本人が窓口に行く必要があるがそれが困難な場合の支援で、代理人や暗証番号の設定など、ケアマネや社協の支援では手続きが進まない現状がある。今後増えると予想される。
- ✓ 10 月の健康福祉まつりにケアマネージャーの会で参加した。認知症対策をテーマにサービスや福祉用具の展示・紹介を行った。2023年の認知症による行方不明者は19000人超で、来場者の関心が高いと感じた。
- ✓ 晴海おとセンができたので、晴海区民センターで「はつらつ健康教室」を初開催したが、参加者は少なかった。とはいえ晴海の需要もあるはずなので、周知の工夫が必要だと感じている。
- ✓ 2 層協議体情報交換会に参加して、京橋・日本橋地域の話が聞けて地域特性などがわかっ

て勉強になった。

- ✓ 私も麻雀を始めた。難しく思っていたより大変だけれども、楽しめるように覚えていきたい。
- ✓ 気になる世帯があつてという話しをしたところから、関係者会議に参加するようになった。そこでケアマネをはじめとしたプロたちの支援を見せてもらって、勉強になった。そして本人たちの思うような終わり方が支援できたと思う
- ✓ 健康福祉まつりに初参加した。福祉だけでなくたくさんの団体が参加していて、つながりができていくと良いなと思った。
- ✓ 勝どきデイルームが1月～3月に休室となるが、その間のおとなりカフェは月島清澄通りコミュニティルームとコーシャタワー併で行う。今回 JKK 住まいるアシスタントの協力が得られたことで、コーシャタワー併でのスマサポまつりが実現できそう。
- ✓ 2層協議体情報交換会について報告。他地区の協議体のメンバーと「通いの場」の運営についての情報交換、日本橋の「歩いてつながる浜町エリアマップ」の工夫（完成前に高齢者に見てもらって要望を聞いた、メモ欄を付けた、小さく折りたためるようにした）が参考になった。
- ✓ 4-5年参加している2層協議体で自分は何をしてきたんだろうともやもやした思いをかかえていたけれど、地図を作り上げた日本橋のメンバーでも達成感がないということも言っていた。頑張りすぎずに、でも地域の皆さんに喜んでもらえるような活動に少しでも協力していきたいと思えた。

## 5 意見交換

### ① 晴海地区のまち歩きマップ作成について

- ・晴海地区のウォーキングマップやバリアフリーマップの改訂が今年度に予定されている。これらが改訂されたら、それを元に協議体の視点を加えて作成しては？
- ・保健所が管轄しているウォーキングマップとそのスマホアプリ「ちゅうおうヘルス&ウォーク」がある。歩けば歩くほどポイントがたまって、景品に応募できる。
- ・浜町の地図作成は協議体メンバーの知人が勤務する会社が無料に対応した。晴海で依頼できる企業や人材がいるだろうか。
- ・元の地図に書き込んだりシールを貼ったりという形式でもよいのではないか。社協のサロンマップを元にするというのもありではないか。
- ・浜町ではテスト版を地域の人に見てもらい、要望を取り入れたと聞いている。相談窓口や、相談に行く後押しになるようなツールになるといい。
- ・次回開催時に、新しいマップを見て、最終的な方向性や役割分担を検討していく。

### ② 広報紙「となりぐみ」の作成について

- ・マップを今年度作成するのであれば、「となりぐみ」として発行予定だったが、マップが次年度になるので、「となりぐみ」を年度内に作成する。
- ・掲載内容候補は「スマサポ祭り」「まち歩き」。
- ・情報交換会で見た京橋地域の「きらきらいふ京橋人～ゆるっとつながる～」では、地域の施設訪問などをしていて、とてもよかった。
- ・おとしより相談センターやデイサービス、カンポレアルマドリードなどを紹介したい。
- ・次回開催時とオープンチャットで、掲載内容の確定や役割分担を検討する。

## 6 次回の予定

次回の協議体は2月に開催予定。

勝どきデイルーム・区民館が使用不可のため、月島特別出張所会議室を使用予定。